

## 博物館だより

### 御礼〈代々木での展覧を終えて〉

博物館事業課長・刀剣博物館主任学芸員 久保 恭子

平成二十九年三月三十一日、刀剣博物館はおよそ半世紀の歴史に幕を閉じました。私事平成六年より協会に奉職し、当初展示ケースの片隅にはガーゼを張った水ボウルが置いてあり、隣には毛髮式温湿度計がシヤカ、シヤカとデータを刻んでいました。キャブシヨンは毛筆の手書きで、随分レトロだなと思いつつ、受付には威勢のいいおじさまが室内まで声を響かせ、正直不慣れゆえとは言い難い哀調を覚えたものでした。しかし、出陳作品はいずれも



まことに格調高く素晴らしかったことを記憶しております。やはり日本刀は美しい。

その頃は、それなりの鑑賞会に顔を出せば一、二点の国宝を手にとって拝見することが許された時代ですが、平成も二桁に入る頃より文化財に対しての諸々がシビアな方向に動き出しました。そのこと自体は悪いとは思いませんが、とりわけ国指定文化財は、博物館等での公開でさえ容易ではなくなりつつあります。環境・人材・実績が整わなければ可となりません。日本刀は他分野の美術品に比べ、破格の国指定

文化財数を誇ります。皆様によりよい展覧をご提供するため、移転の運びとなりました。

平成三十年一月、両国という新たな地で刀剣博物館の展覧を再開いたしました。先人方皆様の胸中には、旧博物館に対する様々な思い出がおりかと思存じます。その想いを大切にお預かりし、現在、新博物館にてより充実した空間をご提供できるよう邁進しております。改めまして刀剣博物館を支えて下さった全ての方に心より感謝いたしますとともに、新地にも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。誠にありがとうございました。



会期中、展示室前にノートを設置しました。来館者の皆様書き残された思いの一部をご紹介します。

▽十七年前に他界した父が足繁く通わせてもらっていました。この地での最後の展覧会とのこと。訪ねてくることができても感無量です。すばらし

い作品群に感銘を受けました。

▽来日するたびに刀剣博物館を訪れている。移転が成功しますように。移転先で会えることを楽しみにしています！

▽両国から来ました。今年ご近所やってくる刀剣博物館って何だろう、という興味で。こんなに凄いコレクシヨンだと知り、嬉しい驚きでした。我が墨田区にきて、ますます充実した展示・保存活動が行われますことを期待しています。

▽じつくりと観ることができ、雰囲気も良く大満足でした。移転前に来ることができて良かったです。刀装や小刀が美しかったです。移転したら、また行きます！

▽小学校に入学した時、町内にこの刀剣博物館ができました。ずっとそばにあるのがあたりまえと思っていました。すがびしいですね。更なるご発展を代々木よりお祈りいたしております。

▽海外からの武道家をこちらに案内することが多く、日本人としてとても誇らしい気持ちになります。これからも、美術品として、また武術文化としての日本刀の歴史が受け継がれますように。永い間代々木でありがとうございました。